



GROWTH
TOKYO

2022年11月11日

各位

会社名 ルーデン・ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 西岡 孝
(東証グロース・コード1400)
問合せ先 取締役管理部門管掌兼管理本部長
佐々木 悟
電 話 03-6427-8088

2022年12月期 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

2022年8月10日に公表した2022年12月期(2022年1月1日~2022年12月31日)の通期連結業績予想を最近の業績動向等を踏まえ、下記の通り修正することといたしましたのでお知らせいたします。

記

2022年12月期 連結業績予想の修正等

1. 通期連結業績予想の修正(2022年1月1日~2022年12月31日)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 2,339	百万円 △18	百万円 5	百万円 △3	円 銭 △0. 30
今回修正(B)	2,368	△26	3	△19	△1. 52
増減額(B-A)	29	△8	△2	△16	—
増減率(%)	1.2	—	△40.0	—	—
(参考)前期連結実績 (2021年12月期)	2,527	△308	△309	△459	△35. 69

2. 修正の理由

売上高におきましては、ハウスクエア事業に関しまして、顧客の購買意欲の本格的な持ち直しがみられず、それを補うべく、当社の既存客に対して営業を行いました。当初予想を下回る見込みです。総合不動産事業においても、予定していた物件の販売が後ずれいたしました。しかし、ビル総合管理事業においては、新規現場の獲得等があり、順調に推移いたしました。そして、今後においても新型コロナウイルス感染症の影響はあるものの、当初の緊急事態宣言下のような状況にはならないと考え、通期業績予想を修正いたしました。

また、利益面におきましては、ハウスクエア事業については、顧客単価が向上したことにより、利益率が改善し、前回予想を上回る見込みです。しかし、ビル総合管理事業に関して、人件費及び材料費や求人募集費の高騰に伴う経費増が利益を圧縮し、前回予想に届かない想定です。さらに、2022年10月31日付け開示した「特別調査費用の特別損失の計上に関するお知らせ」のとおり、特別損失を計上する見込みであることから、引き続き販管費等の削減に努めますが、上記の通り修正することといたしました。

(注) 上記に記載した予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上